

【分野】 果 樹

黒色系ブドウのS-ABA剤による着色向上対策

【要約】

黒色系ブドウの新規植調剤による着色不良の対策技術を開発しました。

【背景】

近年、「ピオーネ」などの黒色系ブドウの着色不良（図1左）が顕在化しています。着色不良の原因として、高温などの気象要因や大房化による過度な着果などの栽培管理上の問題が考えられます。そこで、「ピオーネ」や「オーロラブラック」の着色不良の対策技術の開発に取り組みました。



図1 着色が不良な果房(左)と良好な果房(右)

【結果】

1 S-ABA液剤の果房散布による着色促進

簡易被覆栽培の「ピオーネ」に植物成長調節剤S-ABA液剤1,000ppmを果房に散布すると、品質を損なうことなく着色が促進されました（図2）。

2 適切な散布量について

処理する際の散布量について、2ml、5ml及び10ml/果房で検討したところ、2mlでは効果が不十分であり、10mlでは着色が最も促進されましたが、果粒が小さくなったため、本剤の処理は5ml/果房が望ましいと考えられました。



図2 S-ABA処理による「ピオーネ」の着色促進効果

3 S-ABA処理の増収効果

無核肥大処理の満開期一回処理（GA25ppm+F10ppm）、副梢放任管理とS-ABA処理を組み合わせた栽培を実証し、市場性・経済性を評価しました。

その結果、S-ABAを組み合わせた実証区が、組み合わせていない慣行区に比べて、2品種ともに、秀品率（着色のみで判断）が向上し、「ピオーネ」では最大約13%、「オーロラブラック」では約25%の推定販売金額の向上効果が認められました（図3）。

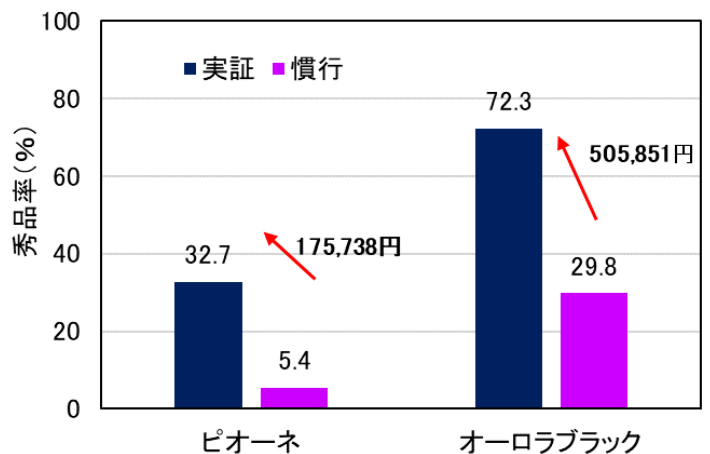


図3 実証栽培試験におけるS-ABA処理の有無が「ピオーネ」、「オーロラブラック」の秀品率と増収効果に及ぼす影響
注) 矢印右の数値は処理による増収額(円/10a)

担当: 農業研究所 果樹研究室 (086-955-0276)

研究課題名: 「オーロラブラック」のブランド力強化を目指したプレミアム果実生産技術の確立 (H29~R1)
「ピオーネ」及び「オーロラブラック」の着色安定化技術の開発 (R2~R4)